

まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員

おおした くにひろ
大下 邦弘



▲愛宕神社



▲愛宕神社への階段



▲愛宕神社鳥居

信楽町の愛宕山山頂に鎮座する愛宕神社は、火産靈命、軻遇突智とも記される火の神と、埴山姫命、波邇夜須毘売神とも記される土の神と、技術を伝来させた渡来系一族の事を指しているとも言われている須恵器の神、天日鉾命を祀り、新宮神社の摂社として平安時代前期から中期ごろに創建されました。

東京芝の愛宕神社は、慶長八年に徳川家康が幕府でこの信楽の愛宕神社から分霊を移したそうです。

また愛宕神社と併記されている陶器神社は、大正年間に当時の有力者の力によ

り愛宕神社と合祀して創設されました。

火への感謝と安全を願って

7月に信楽の中心部を舞台に新宮神社から愛宕神社の間で行われる火まつりは、江戸時代以前より続くと伝えられ、火への感謝と安全を願うお祭りです。

元火を東大寺に求め飯道山行者講の清めの儀式が始まった時代もあったそうです。昭和中期ごろは製陶所の親方が、参加した従業員に金一封を出したので、皆こぞで大きな松明を作ったそうです。またその頃、愛宕山は木の少ない山で、松明が山道を登ってゆくのが見え、とても美

しかつたと聞きます。

こんにちは、甲賀寺跡で古式にのっとり起こした火と新宮神社の火を合わせ元火とし松明を奉納します。

700本ほどの松明が炎で街を彩るさまはまさに焼物の街です。ぜひ愛宕神社へ火まつりへお越しください。今年も7月第4土曜日に行われる予定です。

詳しくは信楽町観光協会のホームページをご覧ください。

信楽町観光協会
<http://www.e-shigaraki.org/>

愛宕神社をゆく

一坂を登ってゆくと

一火への感謝と安全を願って

誰も自殺に 追い込まれることのないまちへ

3月は
自殺対策
強化月間

生活環境が大きく変わる3月は、全国的にも月別自殺者数が多いことから、自殺対策強化月間に指定されています。

自殺の多くは、生活、家庭、仕事、健康などさまざまな要因により心理的に追い詰められた結果、選んでしまう「追い込まれた末の死」と言えます。

「私には関係ないかも」ではなく、まず一人ひとりが、他者に関心を持ち、自殺に対する理解を深めることが大切です。かけがえのない命を守るために、私たちにできることを考えてみませんか。

あなたもできる取り組み

1 「ゲートキーパー」を知ろう

ゲートキーパーは、自殺の危険を示すサインに気づき、関わることの出来る人です。

ゲートキーパーの4つの役割

- 気づき…家族や仲間の変化に気づいて、声をかける。
- 傾聴…本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。
- つなぎ…本人に理解のある家族や友人などと連携して、早めに専門家に相談するよう促す。
- 見守り…温かく寄り添いながら、見守る。

市では、まちづくり出前講座でゲートキーパー養成講座を実施しています。関心のある方は、下記まで。

2 「生きること」や「こころの健康」について考えよう

今月、市内図書館に自殺対策に関連した情報コーナーを設置しています。

こころや心配ごとに関する主な相談窓口を市ホームページに掲載しています。



皆様のご意見を募集します(パブリック・コメント)

甲賀市自殺対策計画(素案)
市では、誰も自殺に追い込まれることのないまちをめざして「甲賀市自殺対策計画(素案)」を作成しました。

【意見募集期間】

3月1日(金)～30日(土)

【意見を提出できる方】

「甲賀市自殺対策計画(素案)」に関し、意見等を提出する意思を有する個人および法人、その他の団体

【意見の提出方法】

意見書(閲覧場所にて取得可能)に記入の上、各閲覧場所へ持参・郵送・ファックス・Eメールで提出してください。

【公表の方法】

すこやか支援課、旧支所である土山・甲賀大原・甲南第一、信楽地域市民センターおよび各保健センターでの閲覧(開庁日の8時30分～17時15分のみ可能)ならびに、市ホームページ、あいコムこうかポータルシステムへの掲載

【意見の取扱い】

提出いただいたご意見は、個人情報を除き、回答とあわせて市ホームページで公表します。なお、ご意見を提出された方への個別の回答はしません。

●問い合わせ● すこやか支援課 健康増進係 〒528-8502 水口町水口 6053 番地
☎ 69-2168 ☎ 63-4085 ✉ koka10255000@city.koka.lg.jp